

關東勞働同盟會小史

大正八年八月東京附近に在る総同盟加盟の組合に於て代議  
 組織された東京聯合會は十年七月五日の大會に於て代議  
 員選出方法に關する問題より内部に分裂を來し、爲にほと  
 んど有名無實の形となつた。然し同年末より之が緩急運  
 動起り、翌年一月三十日加盟団体の連絡を計り協力一致の  
 實を擧ぐるために、關東勞働同盟會の設立を計り、其  
 關東勞働同盟會は一種の連絡機關に過ぎなかつた。其  
 の爲に、會費の莫は創立當時總かに加盟組合員一名に對し  
 一錢にすぎなかつたのであつた。加加盟組合員一名に對し  
 現實の必要は之を活動の主体とせざるを得なかつた。同  
 年五月の横濱下町の争議、メオデール、ロシア餓饉救済運  
 動等に於ては、同盟會自身が東京方面の組合の主体となつ  
 た。もうして七月の第一回大會に於て之を活動主体とす